



令和6年
(2024年)
4月号
Vol.52

もとのま

(社会福祉法人愛の森広報紙)



[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

山本五十六と働き方改革

「昭和系」(笑)の方とそれ以降の方との大きな違いとして各職場でよく語られることの一つに、若手・新人の研修や育成方法に関する考え方の大きな違い、があります。

「昭和系」の典型は、「(先輩の)背中を見て覚えろ」、「(技術・スキルは)先輩から盗め」…。

さて、いきなりタイトルにご登場の山本五十六連合艦隊司令長官は明治生まれ!!ですが(知らない若手はウィキペディア等で調べてね🤖)、曰く…。

「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」

(福)愛の森は小さな法人でもあり、常勤職員さんの入職はこのところ毎年1名程度で推移していましたが、年明けから今春にかけて、5名前後の方が入職して下さいます。年齢 経験も様々な方々に対し、大企業のような体系だった研修が組めない当法人では、上司や先輩が、OJTという形で仕事のやり方を伝授していきます。

新人さんには積極的に先輩の「背中」を見てよい仕事ぶりであれば「盗んで」ほしいですし、また、経験者におかれては、私たちのやり方に違和感があれば遠慮なく提起・提案をしてほしいと思います。

その一方で、(筆者も含め)上司や先輩は、新人さんが、1日も早く利用者さんや職場に馴染めるよう、明治の先人の言葉を常に頭に置きながら丁寧な対応に徹し、令和の職場を明るく働き甲斐のあるものとしていかなければなりません。

新たな年度の開始に際し、新人歓迎の心からの気持ちと職員育成への決意を込めて…。[國分 隆之]



「やってみせ」には「続編」があります。職場の先輩方には、是非、あわせて実践を!
②「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。」
③「やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」

[感謝!] 紅梅園さん、長きに渡る清掃作業、ありがとうございました! ~ 3月28日(木)

~「紅梅園」様は、クリーニングや清掃作業等を主軸に厚木市内で運営する就労継続B型事業所。愛の森のグループホーム利用者さんも2名、クリーニング部門で働いています。

紅梅園様には、平成27年5月から、週2回、愛の森学園本体施設の共有スペース(食堂・多目的スペース・トイレなど)の清掃をお願いしておりましたが、今年度をもって一旦この作業が終了になるとのことで、この日がお掃除最終日。当日は、当学園での清掃作業に当初から携わって

こられた利用者さんを含めた皆さんが、職員の方とともに、いつも通り、丁寧なお仕事ぶりにて作業をしてくださいました。

学園からは、10年近くに渡る愛の森学園の美化衛生へのご貢献に対し、ささやかではありますが、感謝の花束とお菓子を贈呈させていただきました。本当に有難うございました。

清掃事業は終了となりますが、(福)紅梅会様と当学園との交流は、今後も末永く続けたいと思います。 [遠藤 岳洋]



[春うらら!] ミニコンサートとお食事による「春の会」～ 3月16日(土)

～「春の会」は、例年この季節に開催している、ご家族と入所利用者さんを中心とした学園内イベント。コロナ禍ではご家族をお招きできず、「今年こそ」と思っていたものの、年末のクリスマス会後にプチクラスターが発生したこともあり、今回も利用者さん・職員のみでの開催になりました。が、十分に盛り上がりました!

午前10時過ぎ、イベントスタート。まずは3階サロンにて、最近すっかり学園イベントの常連となってくださっている「オカリナ ゲンセキ」様によるミニコンサート。ご夫婦の息のあった演奏で、利用者さんお馴染みのレパートリーが毎回充実! 今回は、映画「となりのトトロ」の「さんぽ」、地元のスーパーSANWA様のテーマ曲😊、松田聖子の「赤いスイートピー」、そして、「愛の森学園園歌」など、数多くご披露いただき、利用者さんはそれぞれオカリナにあわせて口ずさんだり、体を揺らしながら歌ったり、と思いきいに楽しんでおられる微笑ましい光景があちこちで見られました。

お待ちかねのお食事は、見た目も春らしい鮮やかな仕出し弁当に、フルーツ・珈琲ゼリーの豪華版。味もボリュームも大満足のランチとなりました。

一部の利用者さん・職員にとっては花粉で辛い時期ではありますが、春を迎え、のどかで楽しいひとときを過ごせました。
[(花粉に悩む😞)橋本 恵子]



[学び!] 今年度2回目の「虐待防止・身体拘束適正化研修」を行いました～ 3月21日(水)

～ 毎月1回を目途に行っている学園内研修は、時節の課題に応じたテーマの設定を心掛けていますが、昨今の県内情勢等も踏まえ、今年度2回目の虐待防止・身体拘束適正化研修を行いました。講師は、社会福祉士・公認心理師等の知見をベースに多方面で活躍されている当法人畑武子理事です。

畑理事による1度目の研修(7月27日(水))では、平成24年の障害者虐待防止法制定という歴史に始まり、「行政による虐待への対応状況」や「虐待の種類と例」等々、制度や実態の基礎知識から、過去の心理学実験の紹介なども含めた全体像について学びました。

今回は、前回の復習を兼ねて「原因の分析と再発の防止(発生要因)」を総覧したうえで、特に「ストレスや感情のコントロール」に焦点を当て、虐待が起こる理由、そして複数の要因が絡み合って発生することを前提に、どのようにストレスや感情をコントロールしていくか、を具体的に学びました。

昨今の県内事例に関し「その要因をどう考えるか」についてのグループワークを行ったり、論理情動行動療法(ABCDE理論。※)について具体例を交えて解説していただいたり、と盛りだくさんでしたが、わかりやすい言葉と身近な事例などを交えてのお話で、あっという間の1時間半でした。

人間誰しも怒りを持ち、一方でネガティブ思考に陥ることはありますが、このような研修を通じ、利用者支援のバックボーンに少しずつ厚みを加えていければ、と思った次第です。[國分 隆之]

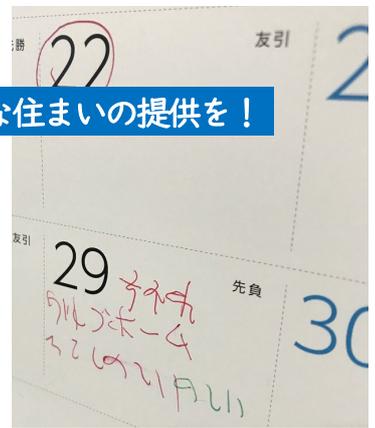
※ ABCDE理論 ～ ある出来事(Activating Event)に遭遇した際、非合理的な信念(Belief)に基づき得られる結果(Consequence)ではなく、生産的・合理的な考えをもってその結果を論駁(Disputes)し、健全な感情(Effective Emotions)をもった方針(気持ち)を獲得する、という思考様式のようなもの(講義を踏まえた筆者の理解レベルでの要約です🍀)。



[住替え！] 利用者さんの特性・ニーズ・ご要望などを勘案し、最適な住まいの提供を！

～ 昨今、県内では「地域移行」の議論が盛んです。「地域移行」も含め、利用者さんの特性(状態)・ニーズやご要望(選択)を総合的に勘案し、そのときどきに応じて最も適した住まいをご提供できれば、と考えています。

年度末、愛の森では利用者さんの住替え(引越し作業)がありました。3人の利用者さんそれぞれに対し、現時点で最適と思われる住まいを提供するための取組みです。



まず1人目は、学園本体施設からグループホーム(GH)すみれ荘に引っ越されたAさん。彼は、まだ施設入所サービスが施策の中心だった頃、即ち愛の森学園創設期からの住人です。その意味で、学園こそが彼の住まいであり、人生であり、ご家族の安心の源でもありましたが、ご本人の能力・特性や要望を踏まえ、ご家族の理解等も含めた諸条件が整ってきたところで、まさに昨今言われている入所施設からの地域移行の一環として、GHへの住替えとなりました。3月28日(木)に学園2階食堂で開かれた送別会では、「グループホームでも頑張る！仕事も頑張る！何かあったら職員とお話する(笑)」等々、新しく始まる地域生活に向け、意気込みを語っておられました。

2人目は、GHすみれ荘からGHひだまりに移られたBさん。GHすみれ荘に長くお住まいでしたが、GHひだまりの方がご実家や通所先に近いことを踏まえ、ひだまりが新しくなったこのタイミングをとらせ、学園の方から住替えを提案し、何度か見学や訪問もしていただいたうえで、ご本人に選択をしていただき、この度のお引越しとなりました。



3人目は、GHひだまりから学園本体施設に入所されたCさん。旧ひだまり時代からの利用者さんで、ひだまりのある鳶尾地区での生活にも大変馴染んでおられましたが、年齢ご相応のより手厚い支援が必要な状況となったことから、ご家族とも相談のうえ、今回、学園本体施設への住替えをするに至りました。GHひだまりでは、利用者仲間と世話人の発案で送別会が開かれ、寄せ書きやプレゼントが贈られました。

愛の森では、入所施設及びグループホーム3軒により、いわゆる居住サービスを提供しています。

GH3軒のうちの「ひだまり」は将来的には現状より若干支援内容が高めのサービスを提供すること(介護包括型から日中支援型への移行)も念頭に建替えを行いました。また、今回の住替えに当たっては、法人内に設置されている入退所等判定委員会において半年近くに移る議論を重ね、各利用者さんの現状や要望・ご意思などを精査したほか、特に新たな入所サービス利用者さんの決定に当たっては、(福)愛の森の通所・短期入所サービスを利用されている方々の状況も含めた検討を行い、限りある資源である入所サービスの定員活用に当たって、できる限り公平・公正に決定するよう努めました。あわせてご報告します。[担当:佐藤 由、花田 大輔]

[ENJOY!] 支援職員の腕と知恵の見せどころ ~ 最近のホリデー日課のご紹介2題!

~ 外部講師や内部スタッフによるルーティンの日課のほか、毎月第4土曜日を目安に実施する「ホリデー日課」。どんな企画で楽しんでもらうかは、担当となった職員の腕と知恵の見せどころ! 2月と3月のお題をまとめてご報告!(2月分は第4土曜日が不都合となったため平日に振替え)

うちわですくって風船カゴ入れ ~ 2月21日(水)

コロナ禍での運動不足解消を目的として始まった「ジムの日」の定例日。普段はYouTubeを伴奏に、楽しくダンスなどをするひとときですが、今回は一寸趣向を変えて、「うちわですくって風船カゴ入れ!」に挑戦! 風船をうちわに乗せて落とさずにカゴに入れるこのゲーム、見た目は簡単そうですが、実際やってみると結構これが難しい🌀。軽くて不揃いの形の風船は、うちわの上で安定してくれません😓。上手にうちわに乗せて「そーっと」カゴに入れる利用者さんもおられれば、ちょっとズル(笑)して「神の手」によるサポートでこっそり入れる利用者さんも😱。色とりどりの風船とともにハラハラドキドキ、そしてバランスも養える楽しい日課でした。 [遠藤 咲笑]



ホワイトデーにはチョコフォンデュ!! ~ 3月23日(土)

3月のホリデー日課は、ホワイトデーに因み、チョコフォンデュを作りました。まずは仕込み。イチゴ、バナナ、マシュマロ等の具材を手頃な大きさにカットします。沢山の板チョコを頑張って👷砕き、湯煎して熱くなったボウルでチョコを溶かせば、準備完了! チョコソースをお玉で上手に掬い、カットしたフルーツ等をお皿に盛り付けていきました。皆さん思い思いにお好みのフルーツをチョコにディップし、美味しそうに召し上がっておられました! [鈴木 和志]



[当面の予定] 4月20日(土)11:00~、保護者説明会(全体会)です。入所・通所・GHすべての利用者さんの保護者の方が対象です。同封のご案内を御覧いただき、奮って参加お申し込みをお願いします。

[人事異動]	3月31日まで	4月1日から	備考
グループホーム長	大川 矩子	遠藤 岳洋	大川は、地域支援課長専任へ。
学園あずさ寮担当主任	木村 鉄平	武田 紘幸	
入所日中支援担当主任	武田 紘幸	福澤 智之	
通所支援担当主任	福澤 智之	木村 鉄平	

[日誌/令和6年3月] 注) 中止・延期となった日課・イベント等には、「×」を付しています😓。

1日(金) 後援会役員会 / 食生活委員会・厨房会議	13日(水) 理美容 / 音楽 / 14日(木) 訪問販売
2日(土) 医療ケア会議 / 3日(日) アダプトイア吡大会	14日(木) さくらの家福祉農園との協働作業
4日(月)~16日(土) 湘北短大から実習生さんがいらっしゃいました😊 [写真📷]	15日(金) オンブズマン相談会
5日(火) 嘱託医往診 / 個別支援計画会議(通所・GH)	16日(土) 春の会 [記事] / 18日(月) Ms.カレン英会話
6日(水) ふれあい会(入所利用者さん自治会) / ジムの日	19日(火) 書道教室 / 21日(木) エアロビ / 支援会議
7日(木) イア吡 / 8日(金) 産業医来園 / 11日(月) 遊美術	21(木) 園内研修会 [記事] / 23日(土) ホリデー日課 [記事]
12日(火) 安全点検の日・リスク人権委員会	27日(水) ジムの日 / 音楽 / 28日(木) 総合防災訓練
	28日(木) 退職者送別会

